



ゼロカーボンシティあさひ宣言

私たちの旭市は、温暖な気候に恵まれ、全国トップクラスの農業産出額を生み出す豊かな自然環境に溢れています。この誇るべき自然環境は、次世代へと受け継いでいかなければなりません。

しかしながら、近年、地球温暖化が原因と考えられる猛暑や集中豪雨等による自然災害が頻発し、私たちの生活に大きな影響を与えています。

このような気候変動は、災害だけでなく、自然環境の破壊や健康リスクの増加など、将来世代にわたる影響が強く懸念され、地球温暖化を食い止めることは喫緊の課題となっています。

2018年に公表された気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の特別報告書においては「気温上昇を1.5度に抑えるため、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにする必要がある」ことが示されました。

地球温暖化対策は、今を生きる私たちの社会的責務であることから、本市においても、市民・事業者・行政が一丸となって再生可能エネルギーの導入や省エネルギー活動などを推進していく必要があります。

先人から引き継いだ豊かな自然環境を守り、未来を担う次世代に繋ぐためにも、本市は、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、脱炭素社会の実現に向けて「オール旭」で取り組むことをここに宣言いたします。

令和7年6月2日

旭市長 米本 弥一郎